

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	三次市立十日市中学校	校長	角濱 慶司	生徒指導主事	日野真里
-----	------------	----	-------	--------	------

取組事例名	『学び方を学び、自分の学び方のヒントを見つけよう』
-------	---------------------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
協調性・柔軟性	2	主体性・積極性	3	自己コントロール	1

取組のねらい
--------

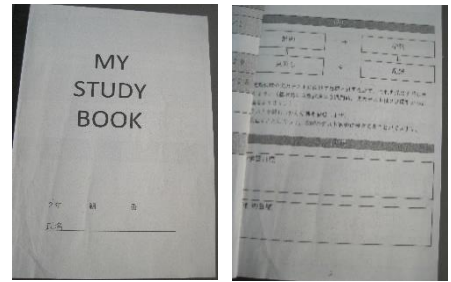
- 自分から進んで学ぼうとする態度を身に付けさせることをねらいとし、テスト計画表(My Study Book)を持ち寄り、他の人の工夫を知ることで、自己の学び方を振り返りこれからの学び方を考えさせる。
- 特に2年生にはリーダーとしての自覚を持たせ、集団を引っ張ったりまとめたりする力を付けさせることをねらいとし、司会や記録等の役割を通して、自己を見つめる機会とする。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード 先輩はアドバイザー』
----------	------------------------------

- My Study Book等を用いて、期末試験の振り返りの共有(各学年ごと)を2回実施する。
  - ・共有では、心がけている工夫点、振り返り、次回に向けてどう行うかなどを紹介する。各学年から代表者を決める。
- グループ編成については、同じ縦割りグループで行う。2回目は2年生が司会、記録の役割を与える。3年生はサポートをする。
- 各学年の代表者のテスト勉強・振り返りをグループ全体に紹介する。
  - ・選ばれた代表者の良かった点を発表する。
  - ・代表者自身が、補足説明をする。
- 学習に関する質問タイムを行う。
  - ・テスト勉強の仕方や家庭学習の取り組み方など、学習に関する質問や悩みを交流する。
- 今日の学習のまとめと振り返りを行う。



(1～3年生 縦割り班での交流)



- 3週間前から学習計画を作成し、自己コントロールをした生活を考えさせる。異年齢でのグループ討議から再度自分の学習計画を見直し、先輩から良いものを学ぶ。
- 付箋を使い、感想を班員のノートに貼ることで、自己肯定感を高めたり、学習の見直しのヒントを得たりする。
- 協議の視点を示し、話し合いの充実を図る。
- 意見を積極的に出しやすいように、あらかじめ司会が協議の視点を示しておく。

取組の成果と課題
----------

アンケートの「生徒の間に話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることは、できていると思うか」では、肯定的な回答は、78%となった。毎日の学習や試験週間の勉強のやり方がわからない生徒は、先輩の経験談が参考になったという意見も見られた。